

令和8年東京都女子柔道体重別選手権大会（第33回） 要項

1. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟
2. 日時 令和8年5月17日（日） 開会式：10時00分
3. 会場 講道館 新館7階 大道場
〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 道場受付 TEL 03-3818-4893
4. 参加資格 (1) 東京都に在住、在勤、または在学しており、東京都柔道連盟傘下の「学校」「道場」「クラブ」等に所属し、全日本柔連連盟（全柔連）の登録が有効な者
(2) 体重区分は下記の7階級とする。
① 48kg級 ② 52kg級 ③ 57kg級 ④ 63kg級
⑤ 70kg級 ⑥ 78kg級 ⑦ 78kg超級
5. 計量 (1) 日時：令和8年5月16日（土）16時30分～17時30分 場所：講道館新館2階教室
※非公式計量は、16時00分～16時30分
計量の結果、申込階級の体重範囲に収まらない場合は失格とする。
6. 試合方法 体重別の個人戦トーナメント方式
7. 審判規程 (1) 国際柔道連盟試合審判規程による。
(2) 試合時間は4分間とする。
(3) 勝敗の判定基準は、「有効」以上「反則勝ち」とする。
(4) 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、ゴールデンスコアに突入する。
ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。
ゴールデンスコアにおいては、スコアまたは「反則負け」によってのみ勝負が決まる。
ゴールデンスコア方式の延長戦では、「抑え込み」5秒で「有効、それまで」とする。
(5) 直接もしくは累積による「反則負け」を除き、「指導」（1回目、2回目）のの違いだけでは勝者は決定しない。
(6) 抑え込みは、5秒で「有効」、10秒で「技有」、20秒で「一本」とする。
(7) 試合が連続する場合のインターバルは「4分間」とする。
8. 表彰 各階級の優勝者・準優勝者・3位(2名)を表彰する。
ただし、出場選手数により変更する場合がある。
9. 参加申込 (1) 申込締切 令和8年4月17日（金）23時59分
(2) ①申込方法
全柔連登録システム（Judo-Member）を用いて所属チームの登録責任者が取りまとめて申込む。
（個人での申込みは不可）
※申込ページの「大会情報＞概要」の注意事項を必読のこと。
※申込内容の変更・取消は、申込締切までシステムで対応可能。
・取消は、申込締切りまでにシステムで行ったもののみ受付け、それ以降は欠場（下記）として取り扱う。
・変更（体重）は、申込締切りまでにシステムで行ったもののみ受け付ける。
締切後に、階級の変更が必要となる申込内容の誤りが判明した場合は「失格」とする。
②監督：1名のみとし、エントリー必須
コーチ：2名までエントリー可
※監督は「全柔連公認指導者資格C指導員以上」が有効な者とする。
資格が有効でない申込みがした場合、そのチームは出場を認めない。
(3) 参加費 4,000円/人 ～ 計量日（大会前日）に現金で支払い
※組合わせ発表後は、欠場する場合も参加費をお支払いいただくのでご了承のこと。
領収書は代金と引き換えに交付する。
(4) 欠場
5月14日(木)までは下記あてメールで報告、それ以降は大会当日に「欠場者受付」に届出のこと。
(5) 問合せ先（公財）東京都柔道連盟 事務局
TEL：03-3818-5639/4246 メール：moshikomi@tojuren.or.jp

10. 組み合わせ 令和8年4月下旬に連盟ホームページに掲載予定

11. 保 険 (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行う。

なお、万一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして万全の事故対策を立てておくこと。

(2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

(3) 大会当日、「マイナ保険証」または「健康保険資格確認書の資格情報」の写真かコピーを持参のこと。

12. そ の 他 (1) 本大会の成績を国民スポーツ大会 女子選手の選考資料とする。

(2) 監督・コーチの服装

監督・コーチとして帯同する者は、審判員に準じた服装とする。

*男性：スーツ・ネクタイ着用（審判員用ネクタイは不可） 女性：スーツ着用

(3) 欠場

大会を欠場する選手は必ず医師または柔道整復師の証明書（原本）を主催者に提出すること（計量時（大会前日）または大会当日、間に合わない場合は後日郵送にて）

(4) ゼッケン

①参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。

②所属名は、全日本柔道連盟に登録した団体名（＝大会申込団体名）とする。

③ゼッケンを取付けていない選手は、失格とする。

④広告付きゼッケンは不可。

⑤ゼッケンの仕様と縫い付け方

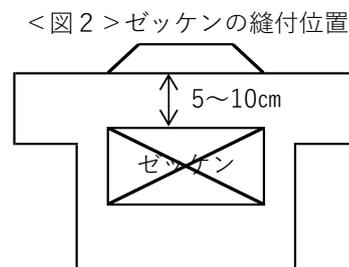
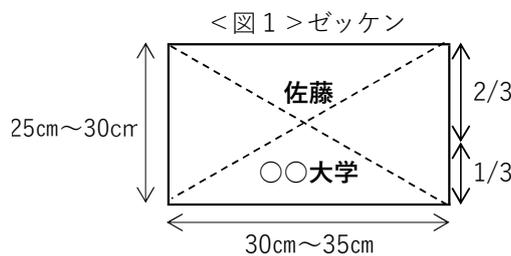
○サイズ：横30cm～35cm×縦25cm～30cm

○布地：白色（晒・太綾）

○書体：太いゴシック体または明朝体で横書き（濃赤色）。

○文字配置：苗字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3

○縫付け位置：後ろ襟から5cm～10cm下方とし、ゼッケンの四辺と対角線に強い糸で縫い付け



(5) 脳震盪

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可。

（直ちに専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。

(6) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において適切な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場を認めない場合もある。

(7) 個人情報、肖像権の取扱い

申込書の提出をもって下記を了承されたものとして取扱う。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合がある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等にて公開される場合がある。大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。

(8) 観戦者

多数のご来場により主催者が危険と判断した場合には入場制限をする場合があるので留意のこと。